

《記載例 1》（普通徴収への切替の場合）

給与支払報告 給与支払報告
特別徴収 に係る給与所得者異動届出書

		所在地 〒012-3456 〇〇県××市△△1-2-3		年度 ① 現年度 2. 新年度 3. 両年度			
(あて先)千葉市長 令和〇年×月△日提出		フリガナ カアシキカイシャ マルバツシヨウジ	特別徴収義務者 指定番号 0699999999	宛名番号 1234			
給与支払者 (特別徴収者)		氏名又は名称 株式会社〇×商事 特徴太郎	所属 人事課人事労務係	氏名 特徴花子			
		個人番号又は法人番号 1111111111111111	担連当絡者先	電話 000-000-0000 内線(123)			
給与所得者	フリガナ スズキイチロウ	特別徴収税額(年税額) 140,000	(ア) 徴収済額 47,200円	(イ) 未徴収税額(ア)-(イ) 92,800円	異動年月日 〇年 1月 9日 30日	異動の事由 1. 退職 2. 転職 3. 休職 4. 死亡 5. 支払少額 6. 合併 7. その他 理由	異動後の未徴収税額の徴収方法 3. 普通徴収(本人納付)
	氏名 鈴木一郎						
	生年月日 昭和50年1月1日						
	個人番号 22222222222222						
	受給者番号 123456						
1月1日現在の住所 〇〇県××市△△3-2-1	異動後の住所						

千葉市の「特別徴収義務者指定番号」と、給与所得者の「宛名番号」は必ず記入してください。

第十八号様式（用紙日本産業規格A4）（第十条関係）

1. (新しい勤務先) 9月末で退職した給与所得者の徴収方法を、10月分から普通徴収に変更する場合。

(ア) 特別徴収税額(年税額) 140,000円(6月から翌年5月分)
 (イ) 徴収済額 47,200円(6月から9月分)
 (ウ) 未徴収税額 92,800円(10月から翌年5月分)

↑
普通徴収税額

※空欄の場合は処理できませんので、必ずご記入ください。
非課税の場合でも、0円とご記入ください。

新しい勤務先へは、月割額 _____ 円を _____ 月分(翌月10日納入期限分)から徴収し、納入するよう連絡済みです。

受給者番号 _____

納入書の要否(新規の場合のみ記載) 右から番号を記入 1. 必要 2. 不要

2. 理由 1. 異動が令和〇年12月31日までで、一括徴収の申出があったため
 2. 異動が令和〇年1月1日以降で、特別徴収の継続の申出がないため

徴収予定月日 _____ 月 _____ 日

徴収予定額(上記(ウ)と同額) _____ 円

左記の一括徴収した税額は、 _____ 月分(翌月10日納入期限分)で納入します。

3. 普通徴収の場合

理由 1. 異動が令和〇年12月31日までで、一括徴収の申出がないため
 2. 令和〇年5月31日までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額(ウ)以下であるため
 3. 死亡による退職であるため

※市町村記入欄